

耐熱型セラミック
高配合パテ材

ジックセラメタル

鉄橋・歩道橋の不陸修正、鋼材減肉部・孔食部のパテ補修に！

ジックセラメタルは高強度の特殊樹脂セラミック金属粉を高配合しており、鋼板・ステンレスなどの金属全般に高い付着性を有しています。さらに耐熱性・耐摩耗性・絶縁性を有しており、鋼板など部材温度が上がる(耐熱温度120℃)部材にも対応可能。摩耗が懸念される箇所への補修などにも有効です。鋼構造物全般に使用可能な耐熱型セラミック高配合パテ材です。

特 長

◆ 優れた付着性

鋼板・ステンレス・アルミなどの金属全般に高い付着性を有しております。

引張強さ：28～35MPa (JIS K-6911)

引張せん断強さ：15～19MPa (JIS K-6850)

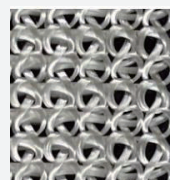
◆ 硬化後の加工が可能

完全硬化後はサンダーにて成形処理が可能です。

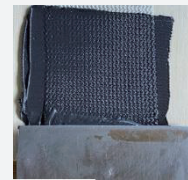
◆ 専用のガラス繊維シート併用で面での施工が可能

ガラス繊維シート：パテが含侵しやすい形状の網目のためパテをしっかり絡めることが可能です。

鋼板の欠損部にシート状に張り付けることが可能です。



ガラス繊維シート
拡大写真



ガラス繊維シート
塗付けの様子

用 途

- ▶ 橋梁： 鋼板の当て板工の不陸修正、伸縮装置などの補修
橋桁の欠損部の穴埋め、鋼板同士の接着強化
- ▶ 歩道橋： 外面の腐食部の補修、蹴上り部の補修
削れた部分の補修、穴が開いた破損箇所
- ▶ 配管： 腐食部の補修
- ▶ 鋼板取り付け： 鋼板のプライマーとして
- ▶ タンク、ホッパー、ポンプケーシング： 耐摩耗が必要な補修
- ▶ 防食ライニング： 防食性が求められるライニングに
- ▶ 他ステンレス・アルミ・鋳物製品の補修に

材料使用量

1セット当りの配合量	
主剤(kg)	硬化剤(kg)
0.9	0.1

1セット当りの施工可能面積	
厚み	面積
2.0mm	0.263㎡
4.0mm	0.132㎡
6.0mm	0.088㎡

荷 姿



ジックセラメタル
1kgセット
主剤 0.9kg 硬化剤 0.1kg

配合比 (重量比)	主剤：9		硬化剤：1	
外観	主剤 濃灰色	硬化剤 白色～淡黄		硬化後 濃灰色
粘度	高粘度ペースト状			
可使時間	50分	300gスケール (25℃)		
硬化時間	15時間	5mm厚 (25℃)		
比重 (硬化物)	1.9			

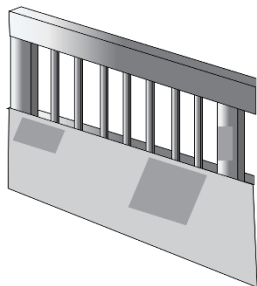
物性値・性能

項目	品質規格	試験内容
硬さ	88	ショア-D
引張強さ(MPa)	28~35	JIS K-6911
縦弾性係数(MPa)	4,900~5,200	JIS K-6911
曲げ強さ(MPa)	41~50	JIS K-6911
圧縮強さ(MPa)	61~75	JIS K-6911

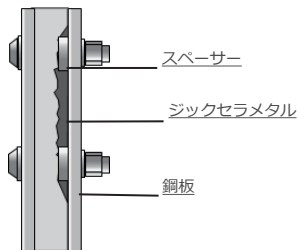
項目	品質規格	試験内容
引張せん断接着強さ(MPa)	15~19	JIS K-6850
耐熱温度(℃)	120	Max
線膨張係数 α (1℃について)	57×10^{-6}	JIS K-6911
収縮率(%)	0.05	JIS K-6911

※上記のデータは、参考値として記載したものであり、保証値ではありません。

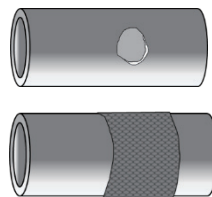
使用用途



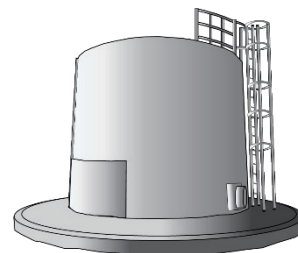
○歩道橋の腐食部、手すり・銅製地覆の補修



○当て板不陸修正



○配管の補修



○鋼製タンクの補修、他ステンレス製、アルミ等の補修

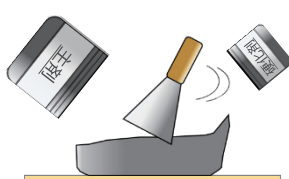
施工フロー

○基本仕様



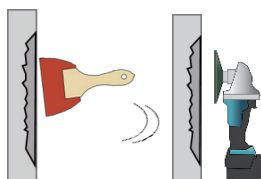
①ケレン・脱脂処理

サンドブラスト・サンダー・サンドペーパー等で2種ケレン相当以上を行い、シンナーで脱脂処理を行う。必要であれば、防錆処理を行う。



②練り混ぜ

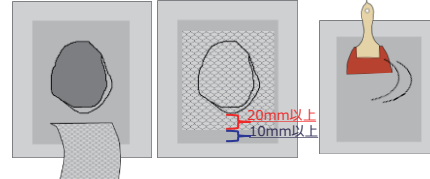
主剤0.9kg、硬化剤0.1kgをヘラで均一になるまで練り混ぜる。



③欠損面・充填面施工

ゴムベラ等で欠損面・不陸面に充填を行う。硬化後、サンダー等で平滑に仕上げを行う。

○ガラス繊維シート併用法



ガラス繊維シート併用法

欠損部の周辺にジックセラメタルを塗り、ガラス繊維シートを張り付け、上から再度ジックセラメタルを上から塗り、仕上げを行う。補修面から20mm以上張り出して10mm程度はみでるように施工を行う。

使用上の注意

- ①本製品は健康に有害な物質を含有しています。
- ②かぶれやすい物質なので必ず手袋等の保護具の着用してください。
- ③作業場所は十分に換気してください。

- ④取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- ⑤異常を感じた時は、必要に応じて医師の診察を受けてください。

- ⑥保管場所は施設し、火気厳禁とし、直射日光のあたる場所は避け、保管してください。
- ⑦本来の用途以外には使用しないでください。

※取り扱いに関する詳細な注意事項はSDSをご参照ください。

●本資料の技術データについて

- ・本資料の技術データは当社の試験・研究に基づいたもので、施工条件などにより異なる結果が生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がございますので、ご了承ください。
- ・材料、施工でのご不明点がございましたら、当社営業担当へご相談ください。



<https://www.jikkou.co.jp/>

■本社 / 〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6号

TEL: 078-974-1388 FAX: 078-974-1392

- | | |
|--|--|
| ■東京支店 / TEL: 03-6803-2287 FAX: 03-6803-2297 | ■東北営業所 / TEL: 022-796-5312 FAX: 022-796-5313 |
| ■横浜営業所 / TEL: 045-307-4817 FAX: 045-307-4818 | ■北陸出張所 / TEL: 076-227-9890 FAX: 076-227-9893 |
| ■中部営業所 / TEL: 052-433-1350 FAX: 052-433-1351 | ■大阪営業所 / TEL: 06-6486-9797 FAX: 06-6486-9798 |
| ■中国営業所 / TEL: 082-831-7505 FAX: 082-831-7506 | ■四国営業所 / TEL: 089-905-3833 FAX: 089-905-3834 |
| ■九州営業所 / TEL: 092-512-2248 FAX: 092-541-6331 | ■技術研究所 / TEL: 078-920-1115 FAX: 078-920-1116 |

【代理店】

R07.05

※ここに記載された事項は、標準的な試験方法に準拠した弊社の実験データをもとづくものではありませんが、多岐にわたる条件下での実績の現場結果を確実に保証するものではありません。※万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側に調査検討くださいますようお願い致します。